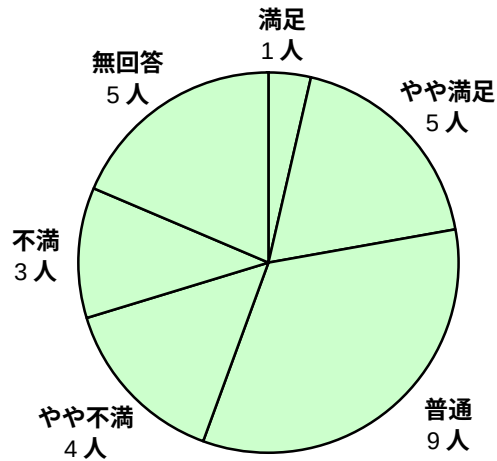
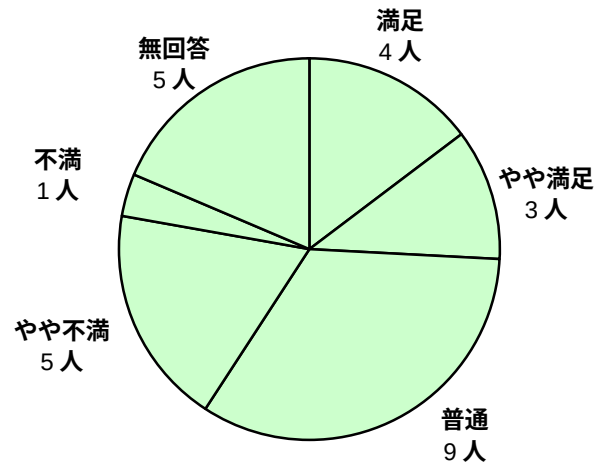


第6回外環沿線協議会 運営に関するアンケート結果

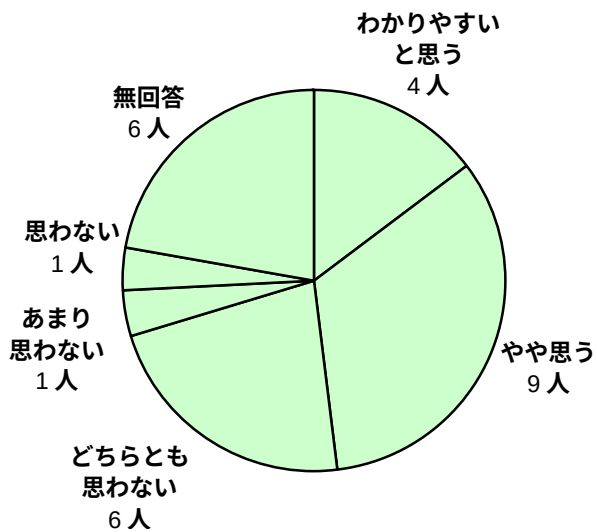
1. 本日の会議について



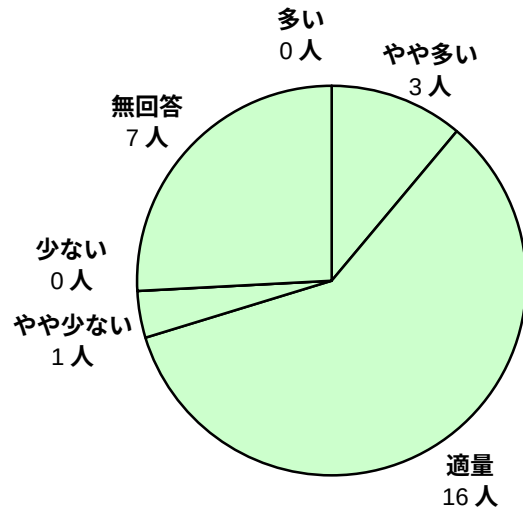
2. 運営について



3. ①資料の内容について



3. ②資料の分量について



4. ご意見

【運営について】

- ・ 一方的な個人の発言が多く時間がかかりすぎる。
- ・ 会議は議題に関連する質問等を集中して行ってほしい。
- ・ 質問内容が議題から外れた場合は、必要に応じて別途議論する機会を設ける。
- ・ 質問時間は、再質問を認め時間厳守を徹底した進行をお願いしたい。
- ・ 会議の冒頭で、本日の協議会の主な目的・到達目標（例えば、「本日の協議会では交通の現状を課題の議論を終えることを目標とします。」）を明確にした方がよい。
- ・ 各協議会毎に、終わりに、その日の議論を整理し、次回持ち越しについても確認しておくべきと思います。
- ・ 発言時間の目安がわかるように、3分で1回、4分で2回、5分で3回という風に音を鳴らすと良い。
- ・ 提案事項、協議事項に対し、各協議員はできるだけメモ等を提出し、効率的運営が図られるべき。
- ・ 初めての進行としては（満足している）
- ・ 発言時間の厳守（指名してもおさえる事）
- ・ 運営方針について再度確認すべきである。
- ・ 基本的・本質的な議論に早く入るべきではないかと考える。そのためにも「確認内容」に沿った形で運営して頂きたい。
「確認内容」では、
1.首都圏における自動車交通についての次には、2.外環を整備する場合の効果となっている。従って、「都市づくりと交通政策について」の議論を終えた後は、ストレートに必要性の有無の議論に入るべきかと考える。
- ・ 今後の運営については、議題をしぼって、（会議時間が2時限定であることから）議論することが望ましい。また、当日議論が尽くせない課題については、次回送りとし1つの課題ごとに整理付けを願います。

【資料について】

- ・資料3についても朝日新聞の記事を丸ごと記載したにすぎないもので議論の必要性がないと思う。
- ・会議については事務局の資料説明が公平さを欠いているように思えます。事務局の立場については中立的で、反対、賛成を問わず事実だけの資料を提示するようご検討下さい。
- ・資料については本題に入ったばかりですので多いのはいたし方ないでしょうが、一つ一つ丁寧に話し合ってほしいと思います。例えば交通量については季節、曜日、時間などでそれぞれ違う分布になると思いますが、基準を決めてということも必要ではないでしょうか。
- ・PI6回にしてようやく本題に入ったような気が致しますが、資料－3（都市づくり交通政策）は外環の資料としてはナンセンスだと思います。必要ありません。
- ・関越と外環を現実問題として抱えている地域課題と問題意識は、限りなく個別・具体的です。その内容は前回提出された参考資料－4「皆さんの声」に一部収録されています。否定的意見・肯定的質問・疑問・もっと具体的な中身を・環境・渋滞解消などなど、多様です。
これに、各協議員と行政系（区市）協議員の討議希望をふくめ、事務局はこれらを客観的に整理し時系列に並べ、ラフな中長期の討議日程案を提案し、フランクに協議すべきでしょう。
- ・前回提出の意見書中、（１）に対する行政のご回答を次回協議会 9/19 にお出し下さい。
- ・都市づくりと交通政策について 協議員全員の意見が聞きたい ― その結果、この問題に関する全員の共通の認識が出来るように議論したいと思います。資料を十分に用意して下さい。
- ・（抜け道となっている生活道路）の説明に使用している写真（上石神井駅前）はシャダン機がおりて車が止まっているので、説明に使用するのは、雪印の会社で日本の牛肉にアメリカの肉を入れて買い取らせたようなもので日本国交省の信用をなく（す）ので、正確を出すべきである。

【進め方について】

- ・マクロからミクロの問題全てについて話し合う立場であるので様々なレベルの話が出て構わないと思います。しかし、今どのような視点で何の議論をしているのかを常に明らかにしながら会を進めないで毎回議論が拡散するだけで、何もまとまらず意味のないことになるかと思っています。
- ・練馬区では、外環関連交通がインターチェンジ周辺の生活道路に入り込むことに起因する諸問題を解決することが課題となっている。したがって、大泉ⅠC・練馬ⅠCを利用する自動車のOD及び経路を調査し、外環が整備されないことによるインター周辺地域への影響について議論してもらいたい。
- ・今までの会議でしばしば「原点に立ちかえって」という発言が見られた。が、これについて、一応は理解しているつもりであるが、各協議員ともに明確ではないと思います。ようやく論議が活発化しつつある今の段階で、この基礎的な問題について各協議員の意見を伺い、できるならば一定の方向付けをし、次のステップに進みたいと思っています。
- ・これから始まる各議題にもとづく議論については、前以て議題の整理、資料の確認などを話し合うことが良いと思います。
- ・必要性の議論に関して、各協議員はどのような内容、どのようなやり方、順番で話をしていけば良いか具体的な提案をし、効率的な運営が図られるべきと考えている。
- ・何をこの会議で審議するのか明確にすべきである。
- ・提案内容については、十分議論すべき、不明確で止まっている。時間をかけてきちんと決める事。
- ・いまだ、協議員会員の協議の仕方がまとまっていない様に思う。他人的な意見は意見としてお聞きするが、外環の必要性について検討する目的を明確に各自が認識する必要あり。（地域全体として住民がどう考えているか等）
- ・毎回「原点にもどって」ということで、先に進んでいるようには思えない。会議のしかたより、今後外環をどうするべきかに早く話を進めた方がよいのでは。
- ・進行するうえで、協議事案がいくつも並行して協議されるため、まとまりのないものになっている。したがって、一つ一つまとめた型の進行が良いのではないかな。

【その他】

- ・都市づくりと交通政策について 協議員全員の意見が聞きたい ― その結果、この問題に関する全員の共通の認識が出来るように議論したいと思います。資料を十分に用意して下さい。
- ・都議会だより NO.248 7/24 発行 伊沢けい子議員に対する都市計画局長の答えの中に今後は早期整備の計画案をとりまとめるとあるが、現在の状況はどうなっているのか計画局長の答えの説明を聞きたい。